

## 令和4年11月定例教育委員会 会議録（概要版）

開催年月日	令和4年11月24日（木）	場 所	教育委員会室
開催時間	13時30分～15時05分		
出席者	教育長	今村 卓也	
	教育委員	垣内 正俊、是澤 利保、黒木 智美、児玉 広美	
	事務局	小林教育部長・大平教育総務課長、若杉学校教育課長、黒木スポーツ・文化振興課長、児玉生涯学習課長、星野図書館長、北住学校給食センター所長、金丸教育総務課総務企画係長、那須教育総務課総務企画係主事	

### 1 開会（13時30分）

### 2 前回の会議録承認

教育長から、11月の定例教育委員会の会議録の承認について諮られ、全員一致で承認された。

### 3 報告

#### （1）教育長報告

10/27 東郷学園若竹分校学校訪問

10/28 平岩小中学校学校訪問

10/30 日知屋小学校運動会

11/1～11/2 宮崎県都市教育長協議会研修会

11/4 日向市校長会

11/5 県中体連ソフトボール競技大会視察（3校連合県大会優勝）

11/4 県中体連バレーボール競技大会視察

11/7 細島小学校学校訪問

11/9 富島中学校学校訪問

11/13 日向市総合防災訓練

11/15 塩見小学校学校訪問

11/16 外部評価委員（国際大河原教授）による点検評価（細島小学校訪問）

11/17 第63回宮崎県学校体育研究会研究発表大会日向・東臼杵大会

11/18 区長公民館長年末意見交換会

11/17 富島高校甲子園出場記念祝賀会

11/21 ICT研究公開授業

## (2) 教育委員報告

### 【垣内委員】

10/28 市町村教育委員会研究大会。今まではコロナ禍でオンライン開催だったため、3年間で初めて参加した。研究発表で日向市、諸塚村の発表があった。今村教育長の17年間の三位一体の教育という話を重みを感じながら聞いた。中教審臨時委員の神野元基さんの講演で日本型の学校教育を求めるものという話が大変興味深かった。Society5.0の到来に向けた学校バージョン3.0学びの時代、個別化の最適化の話があった。若い方だが、非常に知識など見聞広く楽しくもあり、興味深くもあり、重きもありという話だった。

10/30 日知屋東小学校運動会。午前中に前半奇数学年、後半偶数学年という形で実施をした。徒走と表現の練習の成果が非常に表れていると思った。2種目で少々寂しさを感じたところだが、発表できることの喜びが表れていたと思う。保護者も大変喜んでいた。

11/9 富島中学校学校訪問。課題がある中で、生徒の主体的な姿を取り戻そうとする先生たちの取組を見ることができた。学校の教育的課題は学力向上だが、生徒が楽しい、充実していると思える授業を目指しているのではないかと思う。分かるということが、生徒指導の土台になっているとも感じた。

11/21 ICTモデル授業公開研究会。生徒のICT活用のスキルの高さは大変興味深く、凄いと感じた。一番感じたのは、子どもたちの授業に取り組む姿勢の高さ、先生方のICTを通して個別化を目指そうとするところに大変共感を持ち、感心した。久しぶりの研究公開に参加したが、県内から約100名の参加者ということで、遠くは串間市から来ていた。研究公開は先生方も、とても必要としているのではないかと感じた。

### 【是澤委員】

10/28 市町村教育委員会研究大会。仕事の都合で途中退席をしたが、今村教育長の17年間という年数を取り組んだ時代の歴史の重みを深く考えながら聞いた。

11/15 塩見小学校学校訪問。校長先生から教育の組織目標が、将来自立して社会貢献ができる人間を作ることの基本姿勢を作るのが小学校であるということ、それに基づき主体的に問題解決をできる児童の育成という話を聞いた。全体的な学校の課題や運営の話、キャリア教育の話をもう少し聞きたいと思った。1校時全部1年1組の授業を通して見られたので参考になり、勉強になった。若手の先生が多いがしっかりと授業を進めておりしっかりしていると感じた。

11/21 ICTモデル授業公開研究会。10分単位で授業を見ると、パソコン、タブレットを使用しているところがなかなか見られず、通して見ないと分からない部分があった。4教科を見たが、理科のICTの授業がすごく効果があると感じた。授業でマイクロソフトTeamsを使いながら、グラフを作り、さらに、みんなで情報を共有しグループごとに議論し合う形態の授業をしており、一つのツールの武器だと考えた。メリット、デメリットあると思うが、他の先生にも研究授業で学んだことをメリットとして生かしながら、ICT授業を進めてほしいと思った。

### 【黒木委員】

10/27 東郷学園若竹分校学校訪問。

人権講座に出席。児童虐待をテーマに、子どもの貧困についての講演があった。児童虐待については、虐待をする親自身が虐待を受けたサバイバーであったり、DVにあっていたり、様々な過酷な背景によって引き起こされることが多いため、虐待は保護者のSOSのサインでもあると捉え、保護者の保護や孤独にしない環境を整えることが大切であるという話だった。

子どもの貧困については、国内の6人に1人が相対的貧困状態にあり、県内でも実際に多くの相談があり、背景には、保護者の不安定な就労状況やネグレクトなど、子どもの貧困と児童虐待は隣り合わせで切り離せない問題があり、虐待されている子どもや、貧困の子どもを探すという視点ではなく、虐待を受けたり、貧困状態にならないよう早い段階から、子どもと保護者を見守ることが重要である。そのためには自分の身近にいる子どもや保護者から気にかけることを始めてほしいという話だった。

虐待や貧困は子どもに目がいきがちだが、保護者の保護がまずは大切だという話を聞き、自分自身も考えを新たにし非常に勉強になった。実体験を交えながらの講演で大変分かりやすかったが、参加者が少ないことが少し残念に思った。

11/21 ICTモデル授業公開研究会。モデル校というだけあって、先生たちが非常に操作に慣れており、スムーズに授業が進行されていた。生徒たちのICTスキルも高いものを感じた。ティームティーチングをしていた数学の授業が特に印象的だった。一斉授業を受けるか、タブレットを用いて生徒同士で教え合い学び合いをするのか、自分で学習方法を選択し進めている場面が非常に印象的だった。タブレットを使用し練習問題を解いていく生徒、クラスメイトと教え合いながら学んでいる生徒、分からないところを先生に教えてもらいながら理解を深めている生徒、それぞれの学習方法を選択しており、これまで一斉指導の中では取り残されていたかもしれない生徒が、各自のペースで自分に合った方法で主体的に勉強できるという環境は、ICTとTTを活用した個別最適な学びの姿の一つでもあると感じた。ICT活用については、各教科でどの場面にどういう意図でタブレットを使用するのかということが重要になると感じた。授業改善のための一つの道具として、生徒や先生にとってメリットがある活用ができるといいのではないかと感じた。このような授業公開や研究会などが今後も継続されれば、他校の先生たちにとっても非常に参考になり、良いのではないかと考えた。

### 【児玉委員】

10/28 平岩小中学校学校訪問。2時間だけだったが、初めてなので登校の様子も見たいと思い早めに行った。生徒が登校してからすぐに教室から出てきたので、不思議に思い質問すると、校庭の草むしりをするということだった。ハキハキした元気のいい挨拶をたくさんもらい、気持ちが良かった。グループでの授業が多いなと思った。タブレットの授業が楽しいかと生徒に聞くと、楽しいという返事があり、一生懸命勉強している姿に嬉しく思った。中学生のクラスが横並びになっており、すごく開放的で雰囲気が良かった。

11/7 細島小学校学校訪問。近所なので朝から行ったが、地域のまちづくりの会長が、手書きの「不審者に気を付けよう」という旗を作っていた。PTAの副会長は旗を民家に下げて啓発をしている。毎日このような感じで、地域がすごく一生懸命だ。算数の学力が低かったようだが、学校は一生懸命している、学校だけではなく、家庭での協力があれば

っと伸びるのではないかと改めて思った。不登校傾向の生徒もいるが、細島は向こう三軒両隣で仲がよいので、それをどうにかして解決につなげていけたらと思った。

11/13 秋のとしょかんまつりに午後から参加した。職員が一生懸命している姿を見て、素晴らしく来て良かったと思った。もっと1人でも多くの子どもや大人が参加できたらいいなと思った。

11/22 人権講話。とてもいい話を聞いた。濱田先生は人権同和問題から入ったと話していた。日向市に恩返しをしていきたいとも話していた。

#### 【今村教育長】

自分が、県の人権同和教育担当をしているときに、濱田先生は都農高校で学習指導等支援教員をされていた。そこからが自分のスタートだと話されている。何度か話を聞いたが、本当にいい話だと思う。

#### 4 議事

##### ●報告第7号 令和3年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等報告書について

(小林教育部長が資料に沿って説明)

#### 【今村教育長】

何か質問はないか。

では、この件については承認するということでよろしいか。(異議なし)

##### ●議案第30号 令和4年度一般会計12月補正予算の原案

(若杉学校教育課長が資料に沿って説明)

#### 【今村教育長】

何か質問はないか。

#### 【黒木委員】

ICT教育支援員の配置について、年度更新に向けて業務量が多いことで増員となっているが、期間はどのくらいか。

#### 【若杉学校教育課長】

今回計上した令和4年度の補正予算については、2月、3月の2か月分になっている。令和5年度の支援員の配置については、現在当初予算に計上しており、まだ時期は確定していないが、今後調整する。

#### 【垣内委員】

河原先生の評価にもあるが、先生方の指導など78.3%と、県や全国平均をだいぶ上回っ

ているが、予算の2名から3名の増員の成果、市教育委員会の取組が先生たちの資質能力の向上につながっているのではないかと関連付けて考えた。

**【若杉学校教育課長】**

日向市教育研究所も、昨年度から今年度に向け ICT の取組を主題として取り組んでおり、指導係では今年度、先生たちの研修会を年4回実施しており、そのようなことも影響していると思う。

**【今村教育長】**

どこまで指導できているかと聞かれたとき、先生たち自身の捉え方で完璧を求めて YES という人と、50 ぐらいでも YES という人との差が難しいと感じていたので、今回の調査では統一した。現在、今年度の中間の調査が行われており、どういう結果が出るのか少し不安なところもある。学校教育課長が言われたように、市としてのバックアップをしっかりとできるように進めていきたいと思う。日向市が導入しているのは Teams というソフトだが、他市町村では違うソフトを使用しており、授業をするのに同じ環境にないのは、県全体の問題としてあり、新しく来た人が使い勝手が良いと言ったり、悪いと言ったり、いろいろなことがある。そのためには研修を定期的にやっていかないといけないと思っている。

**【是澤委員】**

ICT を進めていく上では、先生たちの負担が減るとというのが最大のメリットを享受できるのではないかなと思うが、年度末 ICT によって業務量が増えるのは本末転倒ではないかなと思う。自分としては余裕があれば人数をもっと増やしてもらいたい。ICT を進めるだけでも、いろんな費用がかかるということをしっかり理解してもらい予算を増額してもらいたい。

**【今村教育長】**

Teams は3年間は無料だが、その期間が終わればライセンス料が発生し、また3年経てばバッテリー交換も必要だと言われている。5年経てばそのものを入れ替えないといけない。財政困難であり、どうにかしないといけない。電気料も同じで結局2倍になってしまう。様々なことがとても大変だと感じる。

**【今村教育長】**

何か質問はないか。

では、この件については承認するということによろしいか。(異議なし)

5 各課事業報告案

**【大平教育総務課長】**

12/22 市町村新任教育委員研修会

### 【若杉学校教育課長】

11/25 就学時健診・日知屋小学校

12/1～12/2 みやざき小中学校学力状況調査

12/4 第37回牧水ヶ丘祭り

12/6 生徒指導主事連絡協議会

12/9 12/26 日向市教育研究所研究会

12/20 地域コーディネーター連絡協議会

12/23 各小中学校終業式

1/6 各小中学校始業式

1/5～1/19 日向市いのちの大切さを考える習慣

半年かけて行った学校訪問が、22日の塩見小学校で学校訪問の全日程が終了した。委員の方々には今後とも学校の現状を踏まえ様々なご指導をいただきたい。

### 【黒木スポーツ文化振興課長】

12/18 青の國短歌大会表彰式

1/9 宮崎県市町村対抗駅伝大会 現在、市内小中高の選考会を開催している。

2/21 第27回若山牧水賞授賞式

2/22 第27回若山牧水賞市内高校講演会

3/12 ひよっここマラソン大会 11/1から募集を開始したが、申込みの出足が鈍い。

### 【児玉生涯学習課長】

12/6 日向市はたちの集い実行委員会

1/8 はたちの集い 成人式の名称を変更し実施する。成人年齢が18歳に引き下げられたが、日向市では20歳でお祝いをするということにしている。5月末の人数で494人。平成14年4月2日から平成15年4月1日までに生まれた人たちが対象となる。

### 【星野図書館長】

12/10 富島高校生ボランティアデー

12/24 クリスマスおたのしみ会

12/6～12/27 明るい選挙啓発作品展

12/28～1/3 図書館休館

1/7 新春かるたとり大会

1/15 押し絵本座談会 エンターテインメントサークルひむかが主催をし県立図書館で県内の方を対象に開く予定にしている。

11/13 秋のとしょかんまつりを開催した。天候も危ぶまれたが、大勢の方に来場してもらえた。まち作りコーナや素話やブックリサイクルにたくさんの行列ができ、とても賑やかに開催することができた。

### 【北住学校給食センター所長】

今月は特別な行事はない。11/15にヒラメのから揚げブルーブランソースがけを給食で

提供した。3000人分を作ったのはギネス新記録ではないかと、東郷学園の6年生の生徒たちも非常に盛り上がった。12/7、12/8に同じソースを使い、宮崎牛のサイコロステーキを提供する予定になっている。

**【今村教育長】**

何か質問はないか。

**【今村教育長】**

成人式のはたちの集い494人だが、実際は在住の人数でよいか。

**【児玉生涯学習課長】**

住民票がある人を抽出している。

**【今村教育長】**

実際に卒業した生徒は何人ぐらいいるのか。

**【児玉生涯学習課長】**

昨年、中止や延期の時に通知文を出した人数が600人弱だったので、そのくらいだと思う。

**【今村教育長】**

住所を変更した人や、変更せずに市外に出た人たちも帰って来るかもしれない。立派な式になってほしいと思う。

**【黒木委員】**

12/9、12/26に予定されている日向市教育研究所研究会は、10回、11回両日ともICTのことということで、よいか。

**【若杉学校教育課長】**

研究主題がICT研究としており、令和4年度の5月に辞令交付し研究を進めてきたが、現在内容のまとめの時期に入っている。レポートは来年2月に報告する予定になっている。

**【小林教育部長】**

10/31～11/1 市町村教育委員会研究協議会に出席した。1日目は文部科学省から、次年度以降の施策や予算の説明があった。主なものは、少人数学級の標準を段階的に引き下げるということで、学級の人数を35人学級にするということや、働き方改革の事例集の公開、部活動の地域移行、デジタル教科書の段階的な導入という説明があった。その後、学校長を経験し、県の社会教育委員をしている特定非営利活動法人長崎SDGsクラブの江頭さんの「繋がりで育む人そしてふるさと」という題で講演があった。ふるさとを学ぶという意義というのは自分らしく生きる力の基盤を整えて生きる基準を育むということが印

象に残った。

パネルディスカッションでは、学校、家庭地域が連携協働し活力ある故郷を創生していくためにということで、大分県玖珠町、長崎県五島市の教育長がそれぞれの市町村の取組を発表された。大分県玖珠町では、コミュニティスクールを活用し、地域の活性化の循環システムを作っている。具体的には地域の行事の企画段階から子どもの参加を行い、令和6年度からは子どもたちが考えた山村留学に取り組むという報告があった。五島市では、朝のドラマの舞台にもなっている。高校卒業と同時に子どもたちが島を出るため、島を離れても故郷を思う心情や地元で生活をしようとする気持ちを育成するための取組を行っているという報告があった。

2日目は分科会があり、金丸係長は地域総がかりで子どもを育むための教育力向上について、自分は不登校児童生徒への支援の在り方についての分科会に出席した。

地域総がかりで子どもを育むための教育力向上に関しては、高知県黒潮町の教育委員会から防災教育を通じ、将来どこに住んでも安全に生きていける力を身に付けさせるという視点で学校と地域が連携し防災教育を行った結果、自己肯定感や自己有用感が醸成されているようにあるとの報告があった。島原市の教育委員会は、島原家庭教育337拍子というリーフレットを作成しており、商店街と高校が連携し商店街にカフェをオープンしたり、地域の行事の活性化に取り組んでいる。

第2分科会では、不登校児童生徒への支援の在り方ということで、長崎県雲仙市と京都市の教育委員会の報告があった。雲仙市は42000人という人口で日向市より小さいところだが、最近不登校児童が増えているという状況でどのような取組をしているかという、雲仙市が地理的に南北に50キロという長いという要因があり、なかなか1か所に子どもたちを集めて指導することが難しいということで、アウトリーチ型という、訪問指導員が市内15か所の社会教育施設を回り、そこに子どもたちを集めて指導をしている。今後の取組みは、もちろん小中学校間の情報共有であるが、教育委員会による早期実態把握と対応、学校が行う対応の標準化。コミュニケーションのGIGA端末の活用、学校外施設フリースクール等の通所対応方針の策定をこれからやっていくという報告があった。

京都市は人口145万の大都市だが、不登校に関する基本的な方針として、一人一人を徹底的に大切にするという方針を掲げており、チーム学校という理念、専門職のスクールカウンセラー、ソーシャルワーカーの方たちと連携を踏まえて効果的な支援計画の作成にも取り組んでいる。大学生の協力を得てボランティアとして不登校児童生徒とも関わってもらうような活動をしている。教育委員会で、生徒指導、三機能のチェックリスト～心の居場所作りハンドブック～というものを作成し、各学校で対応に違いが出ないように共通認識のもとに取り組んでいる。チェックリストやハンドブックの中身は実際どういったものかというのを、後日電話し取り寄せたところなので、現在教育指導係に資料を渡している。日向バージョンを作り上げられたらいいのではないかと思った。

#### 【今村教育長】

雲仙市、京都市どちらでも学校間の対応に差が出ないようにという言葉が心に残った。アウトリーチ型にしても、回って行く人が必要になる。学校間に対応に違いがでないように作るにしても、居場所をどうするのかというのは難しいと思うが、私たちも今求められ



ている。日向市としても難しい問題だ。

**【今村教育長】**

何か質問はないか。

**【垣内委員】**

パネルディスカッションで大分県玖珠町は子どもたちが考えた山村留学という話があったが、具体的にはどういうものか。

**【小林教育部長】**

細かい内容は無かったが、子どもたちがやりたいという声が出ており、具体的に地域の行事として取り組んだということで、山村留学自体がどのような形で行われているかの、紹介は無かった。

**【今村教育長】**

他に質問はないか。(質問なし)

では、この件については承認するという事によろしいか。(異議なし)

6 その他

(1) 12月定例教育委員会の日程について

令和4年12月21日(水) 13時30分～